



第7図 帖地遺跡XⅢ層石器群



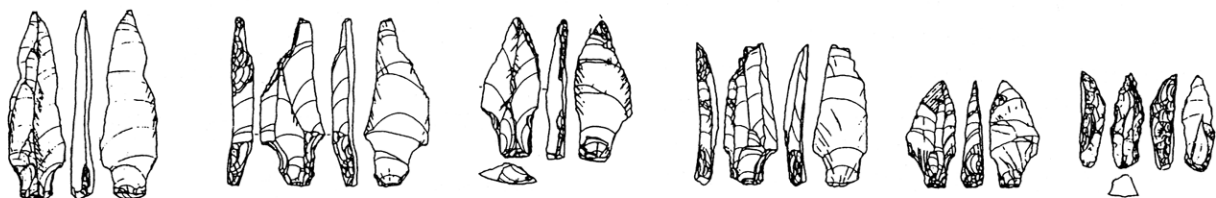
第8図 西ノ原B遺跡石器群



第9図 帖地遺跡XⅡ層石器群



第10図 耳取遺跡石器群



第11図 桐木遺跡石器群

Scale=1/3

的な層位（末吉・財部～鹿屋付近，以下略して大隅層位）と薩摩半島中央部台地の標準的な層位（鹿児島市・松元・伊集院の台地部付近，以下略して薩摩層位）の比較を行い，両地域の層位ごとの横の時期的関係の検討を行う（第12図）。

なお，県内全域の層位の比較については宮田栄二によりまとめられているが（桑波田・宮田 1997），大隅半島北部の地層が当時ははっきりしていなかったことと，また，ここではあくまで編年作業のための一準備として行うため，土